

読み聞かせが始まりました

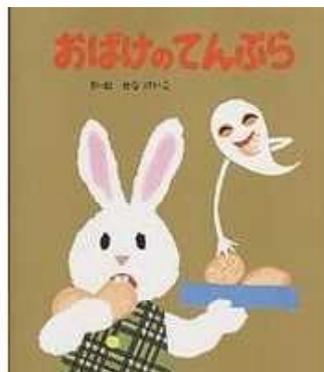
今年度も「世知原小読み聞かせ会」の方々に、主に木曜日の朝のぶくぶくタイム終了後の読書タイムの時に、2学年ずつ本を読んでいただいています。5月31日（木）に最初の読み聞かせが始まりました。1年生と2年生のそれぞれの教室で、絵本を読んでいただきました。子どもたちは、静かに耳を澄まして、物語の世界を楽しんでいました。これから1年間、よろしくお願いします。



私も、子どもが小学校の3年生ぐらまでは、寝る前に本を読んであげていました。自分で読むのもよいのですが、大人が気持ちを込めて読むと、さらに想像が膨らんでわくわくしながら聞いていたのを思い出しました。いろんな本を読み聞かせしたのですが、お気に入りの話というのがあって、何回かに1回は同じ本をせがまれていました。もう20年ほど前のことになりますが、子どもがお気に入りだった本を紹介させていただきます。



「ぴかくん めをまわす」
松居 直 作
車が多く働きすぎた「ぴかくん」は、目を回してしまい、みんなが困ってしまっていて....



「おばけのてんぷら」
せなけいこ 作
仔猫くんの天ぷらを味見したうさこは、自分でも天ぷらを揚げてみるのですが....



「すいかのたね」
さとわきこ 作
ばばあちゃんが庭に蒔いた「すいかのたね」それを見ていた仔猫が掘り返してみますが...

歯と口の健康週間(6/4~6/10)



6月4日～6月10日は「歯と口の健康週間」でした。今年度の標語は「のばそうよ 健康寿命 歯みがきで」でした。本校でも、「児童一人一人に、自分の歯や口の中の健康状態、正しい歯のみがき方、虫歯予防に必要な食生活などに関する知識や技術を身に付けさせ、早期発見・早期治療の励行を図り、自分の歯を大切にする元気いっぱいな子どもを育てる」をねらいとして、「すこやか委員会」の子どもたちが、健康かるた大会やクイズ大会を行って



くれました。かるたで遊んだり、クイズに答えたりしながら、歯と口の健康を保っていくことが、生涯にわたっての健康につながるとともに、そのために食生活も、栄養のバランスを考えなければならないことをしっかりと理解することができていました。



